

DRUG



INFORMATION

2014 No. 8

平成26年3月10日発行

1. 医薬品の採用・中止・変更について.....	1
(平成26年3月6日 薬事委員会結果報告)	
①新規試用医薬品	
②採用中止医薬品	
③製剤変更医薬品	
④包装変更医薬品	
2. 新規採用医薬品情報.....	3
－新規試用医薬品－.....	3
－製剤変更医薬品－.....	5

岐阜大学医学部附属病院・薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ DrugInformation は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp (担当：安田)

①新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
アジルバ錠 20mg(アジルサルタン)	持続性 AT1 レセプターブロッカー
サムスカ錠 7.5mg(トルバプタン)	利尿剤
ナイキサン錠 100mg(ナプロキセン)	鎮痛・抗炎症剤
プリジスタナイーブ錠 800mg(ダルナビル)	抗ウイルス化学療法剤
レルベア 200 エリプタ 14 吸入用 (ビランテロールトリフェニル酢酸塩、フルチカゾンフランカルボン酸エステル)	喘息治療配合剤
アセリオ静注液 1000mg(アセトアミノフェン)	解熱鎮痛剤
エポエチンアルファ BS 注 3000 シリンジ「JCR」(エポエチンカッパ)	遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤
オザグレレ Na 点滴静注 80mg バッグ「テルモ」(オザグレレナトリウム)	トロンボキサン合成酵素阻害剤
ケナコルト-A 皮内用関節腔内用水懸注 50mg/5mL(トリアムシノロンアセトニド)	合成副腎皮質ホルモン剤

⇒ 平成 26 年 3 月 18 日より処方開始の予定です。

②採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
アデロキザール散 7.8% (リン酸ピリドキサルカルシウム)	ビタミン B 製剤
インタール細粒 10% (クロモグリク酸ナトリウム)	抗アレルギー剤
エカード配合錠 HD(カンデサルタン・ヒドロクロロチアジド)	アンジオテンシン II 受容体拮抗剤(配合剤)
ガストローム顆粒 66.7% (エカベトナトリウム水和物)	防御因子強化剤
デュロテップパッチ MT パッチ 8.4mg(フェンタニル)	麻薬(非アルカロイド系)
アリクストラ皮下注 1.5mg(フォンダパリヌクスナトリウム)	血液凝固阻止剤
キサンボン S 注射液 40mg(オザグレレナトリウム)	トロンボキサン合成酵素阻害剤
ゾラデックス 1.8mg デポ(ゴセレリン酢酸塩)	子宮内膜症治療剤

⇒ 院内の在庫がなくなり次第、処方中止とします。

③製剤変更医薬品

旧医薬品名⇒新医薬品名	(外): 院外専用医薬品	薬品分類
イリボー錠 2.5μg ⇒イリボーOD錠 2.5μg ^(外)		下痢型過敏性腸症候群治療剤
イリボー錠 5μg ⇒イリボーOD錠 5μg		下痢型過敏性腸症候群治療剤
カソデックス錠 80mg ⇒カソデックス OD錠 80mg		前立腺癌治療剤
カルデナリン錠 0.5mg ⇒カルデナリン OD錠 0.5mg ^(外)		血圧降下剤
カルデナリン錠 1mg ⇒カルデナリン OD錠 1mg		血圧降下剤
カルデナリン錠 2mg ⇒カルデナリン OD錠 2mg ^(外)		血圧降下剤

⇒ 旧製剤の在庫がなくなり次第、変更としますが、院内の在庫状況によっては院外処方オーダーのみ先に新製剤へ変更する場合があります。

④包装変更医薬品

医薬品名(変更前⇒変更後)	薬品分類
デノタスチュアブル配合錠〈ボトル⇒分包品〉	カルシウム/天然型ビタミン D3/マグネシウム配合剤
オーキ西斯 9μg タービュヘイラー28 吸入⇒オーキ西斯 9μg タービュヘイラー60 吸入	気管支拡張剤
デトキソール静注液 2g 〈アンプル⇒バイアル〉	解毒剤
ヘパリン Na ロック用 10 単位/mL シリンジ 10mL「タナベ」 ⇒ヘパリン Na ロック用 10 単位/mL シリンジ 10mL「ニプロ」	血液凝固阻止剤

⇒ 旧製剤の在庫がなくなり次第、変更とします。

なお、薬事委員会で承認された後発品、バイオ後続品については、次号以降で報告致します。

【新規試用医薬品】

(アジルサルタン)

▶アジルバ錠 20mg

Azilva 20mg/錠 [武田]

[薬価]136.9 円/錠

【効】高血圧症

【用】(内) 20mg を 1 日 1 回投与する。1 日最大投与量は 40mg とする。

(トルバプタン)

▶サムスカ錠 7.5mg

㉔

Samsca 7.5mg/錠 [大塚]

[薬価]1,660.3 円/錠

【効】①ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留 ②ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な肝硬変における体液貯留

【用】(内)①15mg を 1 日 1 回投与する。②7.5mg を 1 日 1 回投与する。

(ナプロキセン)

▶ナイキサン錠 100mg

㉔

Naixan 100mg/錠 [田辺製薬]

[薬価]8.1 円/錠

【効】○下記疾患の消炎・鎮痛・解熱：関節リウマチ、変形性関節症、痛風発作、強直性脊椎炎、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱・腱鞘炎、月経困難症、帯状疱疹 ○外傷後並びに手術後の消炎・鎮痛 ○歯科・口腔外科領域における抜歯並びに小手術後の消炎・鎮痛

【用】(内) 1 日 300~600mg を 2~3 回に分けて投与する。痛風発作には初回 400~600mg を投与する。頓用する場合及び外傷後並びに術後初回には 300mg を投与する。

(ダルナビルエタノール付加物)

▶プリジスタナীব錠 800mg

㉔

Prezistaive 800mg/錠 [ヤンセン]

[薬価]1,843.8 円/錠

【効】HIV 感染症

【用】(内)本剤 1 回 800mg とリトナビル 1 回 100mg をそれぞれ 1 日 1 回食事中又は食直後に

併用投与する。必ず他の抗 HIV 薬と併用すること。

▶レルベア 200 エリプタ 14 吸入用

Relvar (配合剤) [グラクソ・スミスクライン]

1 ブリスター中：

ビランテロールトリフェニル酢酸塩 40μg

フルチカゾンフランカルボン酸エステル 200μg

[薬価]3,143.9 円/キット

【効】気管支喘息(吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入β₂刺激剤の併用が必要な場合)

【用】(外) 100 エリプタ 1 吸入を 1 日 1 回吸入投与する。症状に応じて 200 エリプタ 1 吸入を 1 日 1 回吸入投与する。

(アセトアミノフェン)

▶アセリオ静注液 1000mg

㉔

Acelio 1,000mg/100mL/V [テルモ]

[薬価]332 円/瓶

【効】経口製剤及び坐剤の投与が困難な場合における疼痛及び発熱

【用】(注)下記のとおり本剤を 15 分かけて静脈内投与すること。＜成人における疼痛＞成人には、1 回 300~1,000mg を 15 分かけて静脈内投与し、投与間隔は 4~6 時間以上とする。1 日総量として 4,000mg を限度とする。体重 50kg 未満の成人には、1 回 15mg/kg を上限として静脈内投与し、投与間隔は 4~6 時間以上とする。1 日総量として 60mg/kg を限度とする。＜成人における発熱＞成人には、1 回 300~500mg を 15 分かけて静脈内投与し、投与間隔は 4~6 時間以上とする。原則として 1 日 2 回までとし、1 日最大 1,500mg を限度とする。＜2 歳以上の幼児及び小児における疼痛及び発熱＞2 歳以上の幼児及び小児には、1 回 10~15mg/kg を 15 分かけて静脈内投与し、投与間隔は 4~6 時間以上とする。1 日総量として 60mg/kg を限度とする。成人の用量を超えない。＜乳児及び 2 歳未満の幼児における疼痛及び発熱＞乳児及び 2 歳未満の幼児には、1 回 7.5mg/kg を 15 分かけて静脈内投与し、投与間隔は 4~6 時間以上とする。1 日総量として 30mg/kg を限度とする。

(エポエチンカップ(遺伝子組換え))

▶エポエチンアルファBS注3000シリンジ「JCR」^後⑧

Epoetin Alfa BS 3,000 国際単位/2mL/筒

[キッセイ]

【薬価】2,063 円/筒

【効】①透析施行中の腎性貧血 ②未熟児貧血

【用】(注)①投与初期は、1回 3,000 国際単位を週 3 回、できるだけ緩徐に静脈内投与する。貧血改善効果が得られた後は、維持量として、1回 1,500 国際単位を週 2~3 回、あるいは 1回 3,000 国際単位を週 2 回投与する。貧血改善効果の目標値はヘモグロビン濃度で 10g/dL(ヘマトクリット値で 30%)前後とする。維持量での最高投与量は、1回 3,000 国際単位、週 3 回投与とする。②1回 200 国際単位/kg を週 2 回皮下投与する。未熟児早期貧血期を脱し、ヘモグロビン濃度が 10g/dL(ヘマトクリット値で 30%)前後で臨床症状が安定したと考えられる場合は投与を中止すること。

(オザグレレルナトリウム)

▶オザグレレル Na 点滴静注 80mg バッグ「テルモ」^後

⑧

Ozagrel Na 80mg/200mL/袋

[テルモ]

【薬価】1,384 円/袋

【効】①クモ膜下出血術後の脳血管攣縮及びこれに伴う脳虚血症状の改善 ②脳血栓症(急性期)に伴う運動障害の改善

【用】(注)①1日 80mg を 24 時間かけて持続静注する。投与はクモ膜下出血術後早期に開始し、2 週間持続投与することが望ましい。②1回 80mg を 2 時間かけて 1 日朝夕 2 回の持続静注を約 2 週間行う。

(トリアムシノロンアセトニド)

▶ケナコルト-A 皮内用関節腔内用水懸注50mg/5mL

Kenacort-A 50mg/5mL/V

[ブリストル・マイヤーズ]

【薬価】217 円/mL

【効】〔関節腔内注射〕○関節リウマチ、若年性関節リウマチ(スチル病を含む) ○強直性脊椎炎(リウマチ性脊椎炎)に伴う四肢関節炎、変形性関節症(炎症症状がはっきり認められる場合)、外傷後関節炎、非感染性慢性関節炎〔軟組織内注射〕○関節周囲炎(非感染性のものに限る)、

腱炎(非感染性のものに限る)、腱周囲炎(非感染性のものに限る) ○耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法 ○難治性口内炎及び舌炎(局所療法で治癒しないもの)〔腱鞘内注射〕○関節周囲炎(非感染性のものに限る)、腱炎(非感染性のものに限る)、腱鞘炎(非感染性のものに限る)、腱周囲炎(非感染性のものに限る)〔滑液嚢内注入〕○関節周囲炎(非感染性のものに限る)、腱周囲炎(非感染性のものに限る)、滑液包炎(非感染性のものに限る)〔局所皮内注射〕○湿疹・皮膚炎群(急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ピダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など)、(但し、重症例以外は極力投与しないこと。局注は浸潤、苔癬化の著しい場合のみとする)、痒疹群(小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む)(重症例に限る)、乾癬及び類症〔尋常性乾癬(重症例)、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、けい留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群)のうち尋常性乾癬、扁平苔癬(重症例に限る)、限局性強皮症、円形脱毛症(悪性型に限る)、早期ケロイド及びケロイド防止 ○耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法〔ネブライザー〕○気管支喘息 ○びまん性間質性肺炎(肺線維症)(放射線肺臓炎を含む) ○アレルギー性鼻炎、花粉症(枯草熱)、副鼻腔炎・鼻茸、喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリプ・結節、食道の炎症(腐蝕性食道炎、直達鏡使用後)及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法〔鼻腔内注入〕○アレルギー性鼻炎、花粉症(枯草熱)、副鼻腔炎・鼻茸、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法〔副鼻腔内注入〕○副鼻腔炎・鼻茸、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法〔鼻甲介内注射〕○アレルギー性鼻炎、花粉症(枯草熱)、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法〔鼻茸内注射〕○副鼻腔炎・鼻茸〔喉頭・気管注入〕○喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリプ・結節、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法〔中耳腔内注入〕○急性・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法〔耳管内注入〕○滲出性中耳炎・耳

管狭窄症 〔食道注入〕○食道の炎症(腐蝕性食道炎、直達鏡使用後)及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

【用】(注)〔関節腔内注射、軟組織内注射、腱鞘内注射、滑液嚢内注入〕1回 2~40mg を関節腔内、軟組織内、腱鞘内及び滑液嚢内にそれぞれ、注射又は注入する。原則として投与間隔を2週間以上とすること。〔局所皮内注射〕1回 0.2~1mg 宛 10mg までを週1回局所皮内に注射する。〔ネブライザー〕1回 2~10mg を1日1~3回ネブライザーで投与する。〔鼻腔内注入、副鼻腔内注入、喉頭・気管注入、中耳腔内注入、耳管内注入〕1回 2~10mg を1日1~3回鼻腔内、副鼻腔内、喉頭あるいは気管、中耳腔内及び耳管内に注入する。〔鼻甲介内注射、鼻茸内注射〕1回 2~40mg を鼻甲介内及び鼻茸内に注射する。〔食道注入〕1回 2mg を食道に注入する。

【製剤変更医薬品】

(ラモセトロン塩酸塩)

▶イリボーOD錠 2.5µg (劇)

Iribow 2.5µg/錠 [アステラス]

〔薬価〕85.8 円/錠

▶イリボーOD錠 5µg (劇)

Iribow 5µg/錠

〔薬価〕140.2 円/錠

【効】男性における下痢型過敏性腸症候群

【用】(内) 5µg を1日1回投与する。1日最高投与量は10µg までとする。

(ビカルタミド)

▶カソデックス OD錠 80mg (劇)

Casodex 80mg/錠 [アストラゼネカ]

〔薬価〕957.3 円/錠

【効】前立腺癌

【用】(内) 80mg を1日1回投与する。

(ドキサゾシンメシル酸塩)

▶カルデナリン OD錠 0.5mg

Cardenalin 0.5mg/錠 [ファイザー]

〔薬価〕20.3 円/錠

▶カルデナリン OD錠 1mg

Cardenalin 1mg/錠

〔薬価〕32.9 円/錠

▶カルデナリン OD錠 2mg

Cardenalin 2mg/錠

〔薬価〕59.7 円/錠

【効】高血圧症、褐色細胞腫による高血圧症

【用】(内)1日1回 0.5mg より投与を始め、効果不十分な場合は1~2週間の間隔をおいて1日1回 1~4mg に漸増し、1日1回投与する。1日最高投与量は 8mg までとする。褐色細胞腫による高血圧症には1日最高投与量を 16mg までとする。